

# 数学A

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
新高校の数学A(数研出版)	2	2年1組、2組

## 1 学習の到達目標

学習の到達目標	場合の数と確率、整数の性質または図形の性質について学ぶ。基礎的な知識の習得とそれらを活用する能力を身に付けること、数学的な見方や考え方のよさがわかるようになることを目標とする。
---------	--

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	オリエンテーション	1	・授業の流れ、評価、習熟度別学習について理解する。					・授業プリントの取組状況 ・確認テスト ・考査対策テスト  ・定期考査	
	5	「集合」	6	・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について学ぶ。						
	6	「順列」	9	・具体的な事柄について考えることを通して、順列の意味について理解しその総数を求めることができるように練習する。	○			○		
	前 期 中 間 考 査					○	○	○		
	7	「組合せ」	10	・具体的な事柄について考えることを通して、組合せの意味について理解しその総数を求めることができるように練習する。	○			○		
	8	「確率」 (確率の計算)	10	・確率の意味や基本的な法則について理解を深め、それらを用いて実際の事柄の確率を求める。	○			○		
	9	前 期 期 末 考 査					○	○		○
	後期	10	「確率」 (確率の応用)	14	・余事象の確率、独立な試行の確率や条件付き確率などの意味を理解し、実際のことがらについてその確率の求め方を学びその仕組みについて理解する。	○				○
11		後 期 中 間 考 査					○	○	○	
12		「平面図形」	10	・三角形や円の基本的な性質について、それが成り立つことを学び、基本的な図形の作図に活用できるようにする。	○			○		
1		「空間図形」	3	・空間における直線や平面の位置関係やなす角についての理解を深め、多面的などの基本的性質について理解する。	○			○		
2		後 期 期 末 考 査					○	○	○	
学年末	3	「整数の性質」	8	・整数の性質についての理解を深め、物事の考察に活用することを学ぶ。	○			○		

## 3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
内 容	数学に関心を持ち、数学のよさを認識し、日常生活で積極的に活用しようとするか。	ものごとを数学的に考えた時、考えの過程を振り返り、数学的な見方や考え方を身に付けているか。	ものごとを数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているか。	数学における基本的な考え方、原理・法則などを全体として理解し、知識を身に付けているか。
割 合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

#### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 1～2時間毎に、授業プリント・ノートの提出をすること。  
(①関心・意欲・態度)
- (2) 1～2時間毎に、確認テストを受けること。  
(①関心・意欲・態度④知識・理解)
- (3) 定期考査直前に2～4時間、考査対策テストを受けること。  
(④知識・理解)
- (4) 定期考査を受けること。  
(②数学的な見方や考え方③数学的な技能④知識・理解)

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0